

(小学校の部) 1 岐阜市立岩野田北小学校

学 校 名	岐阜市立岩野田北小学校 (校長 遠山 健二)
活動の種類・単位	防災訓練を、全校職員、児童と地域とが連携して取り組んだ。
教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間

1 活動テーマ

『命』の大切さが分かり、地域とともによりよく生きる子ども

～地域に生きる一人として、自他の生命を守り、強く生きぬく地域の防災にかかわる取組を知る～

2 主な活動内容

地域防災訓練に全校児童が参加し、地域の防災活動について理解する。地域の方々と自治会ごとに集合・避難(登校)し、災害時の避難経路を確認する。自治会を通じて、各種関係諸機関とも連携を図り、前年の取組の反省を生かしながら様々な防災体験活動を仕組み、児童が参加する。そうすることによって、児童が、災害時に、どのように行動することが大切なのかを理解する機会としたい。

また、地域で行われている防災に関わる取組を知り、自分たちの生活が守られていることに対して感謝の気持ちをもてるようにすると共に、消防団・水防団等を含め、将来の地域の担い手としての意識を高める。

その他、5年生を対象として、講師を招いてのDIG訓練を行う。5年生は理科の学習で災害について学ぶ。学習した内容を、実際に自分たちが住んでいる地域に予想される災害と重ね合わせながら防災に取り組んでいく意識を高めるとともに行動力を高める。

【活動1】10月28日(日)全職員、全児童による地域防災訓練への参加



▲ 地域防災訓練

児童は自治会ごとに決められた集合場所から小学校までを地域住民とともに歩いて避難して来た。その後、消防署、水防団、消防団、日赤奉仕団、女性防火クラブ等、各関係諸機関と連携した様々な防災訓練(倒壊家屋からの救助訓練、煙道体験、土嚢作り、避難所体験、防災倉庫見学、応急手当体験、バケツリレー、消火訓練、放水訓練見学等)を体験したり見学したりした。児童が地域の各防災機関取組を知り、自分たちの暮らしが守られていることに気づく貴重な体験となった。

【活動2】12月20日(木)5年生児童による講師を招いての防災DIG訓練



▲ 地域の見守り体のみなさんとDIG訓練

5年生児童は、DIG訓練を行うにあたり、事前に自分の通学路にある道路や水路、川、危険な場所等、様々な観点で調べてみた。訓練当日は、村岡先生に実際の災害現場の写真や動画をみせていただきながら、地域の見守り隊(STEP隊)の方々とともに、再度、通学路の安全について地図上で確認したり安全に通学するための意見交流を行ったりした。毎日お世話になっているSTEP隊の方との意見交流は、自分たちのくらしの安全について見直す貴重な体験となった。

子供たちに付いた力	地域に起こりそうな災害を知り、それに合わせた地域の防災活動がどのように行われているかについて体験を通して理解することができた。
効果	児童一人一人(特に高学年)が災害を他人事ではなく、自分事としてとらえられるようになった。
今後の方向	災害時には、自分の命は自分で守る意識を持ち、身近なところで自分でもできる防災について考え、行動していくようにする。